

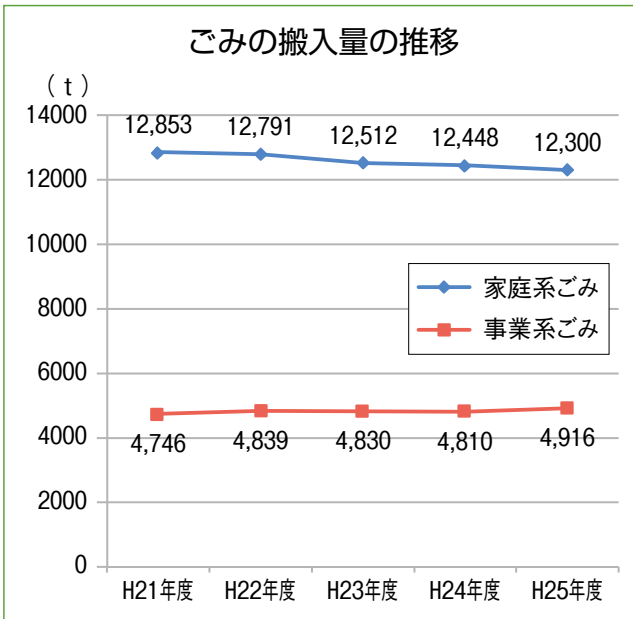
平成25年度ごみ処理実績

家庭からのごみは前年度比148トン減量

ごみの分別収集は、環境保全や資源の有効利用につながります。市のごみ処理の現状は、事業所などから出るごみが増量傾向にあります。また、資源ごみの資源化率も9.8%と低いです。今後の課題は、事業所などからでるごみの削減と資源化率の向上です。

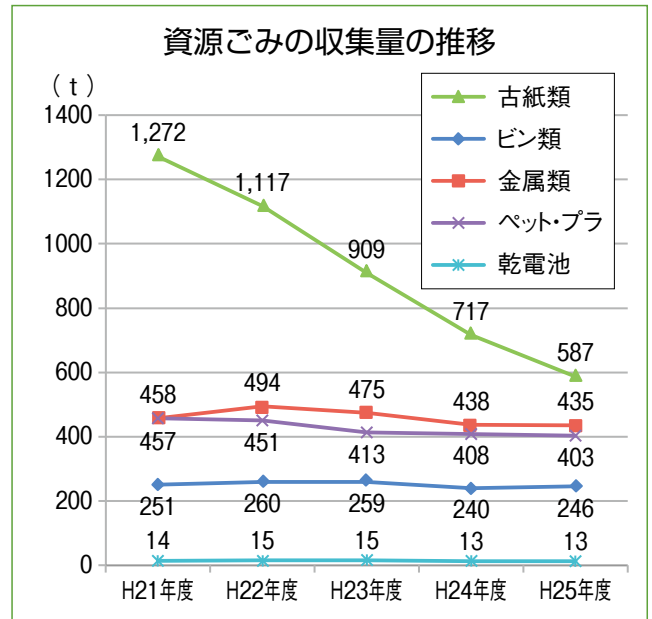


市民部 生活環境課
995-1816
美化センター
992-3210



家庭から出る可燃ごみは
前年度比 77 トン減量

平成 25 年度の家庭系ごみと事業系ごみを合わせた総搬入量は 17,216 トンで、前年度より 0.2% 減りました。このうち、家庭からのごみは全体の 71% に当たる 12,300 トンで前年度に比べ 148 トン減りました。また、事業所などからのごみは、全体の 29% となり 4,916 トンで前年度に比べ 106 トン増えました。家庭から出る可燃ごみは 10,456 トンで、前年度に比べ 77 トン減りました。また、事業所などの可燃ごみは 4,829 トンで前年度に比べ 106 トン増えました。今後、事業所などからでるごみを削減する方法を検討していきます。



ごみの総搬入量に対する
資源化率は 9.8%

平成 25 年度の古紙類資源化量は、新聞紙 307 トン、雑誌 164 トン、ダンボール 112 トン、牛乳パックは 4 トンで総計 587 トンでした。びん類は 246 トンで、金属類は 435 トンでした。また、プラスチック製容器包装は 326 トン、ペットボトルは 77 トンで総計 403 トン、乾電池は 13 トン、資源化総量は 1,684 トンで、前年度より 130 トン減り、総搬入量に占める資源化量の割合を示した資源化率は 9.8% となりました。市では、資源化率の向上のため、来年度から家庭で使用した天ぷら油の回収やパソコン・携帯電話などの小型家電の回収を新たに始める予定です。



衣類などの回収 3か月間で17,220kg

市では、4月1日から家庭で使わなくなった古着やバッグなどを回収しています。3か月間の回収量は17,220kgになります。回収ボックスは市役所、各支所、生涯学習センター、美化センターに設置してあります。回収した衣類などは主に海外の方が再利用したり、工業用ウエスとして使用されたりします。ごみの減量や資源の再利用のため、不用になった古着やバッグをお持ちください。